

# 札幌社保協 FAXニュース

2008年 3月24日(月)  
社保協事務局 発行  
823-0867 Fax821-3701  
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp  
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

3月の国保・  
介護110番は  
3月27日(木)  
です。

## これは何だ！ 後期高齢者の保険証届く 広域連合・区役所に問い合わせ殺到！

札幌では3月17～22日の間に後期高齢者医療制度の新保険証が届き始めました。またそれを前後して厚生労働省、国保連合会の「制度お知らせビラ？」も新聞に折り込まれて配布されたことから、該当の75才以上の方々に、一気に不安が広がりました。

24日は広域連合の電話は何度かけてもつながらず、各区役所の国保係も問い合わせに追われておわらわです。保険証が送られて初めて後期高齢者医療制度のことを知った人も多く、「この保険証は何だ？」「保険料はいくらとられるのか」「なぜこんな制度になったの

か」等などの疑問が次々と寄せられています。厚別区では「多すぎて何件問い合わせが来ているか分からない」状態です。

今後4/1以降に市から年金からの保険料引き去り通知が送られ、4/15の年金から天引きされれば、さらに不安と怒りが広まるのが予想されます。各団体でも高齢者への説明や相談活動を強化しましょう！

### 【今後の予定】

4/1(火)12:00～13:00 札幌駅南口 消費税廃止とあわせた後期高齢者中止の宣伝、4/15(火)12:00前後大通と各区で年金支給日宣伝、4/16(水)10:00～16:00「後期高齢者医療制度」110番

## 障害者交通費助成の見直し 問題で、「敬老パス」から学ぶ



札幌市が2009年から障害者交通費助成制度の「見直し」-削減-を打ち出しました。多くの障害者の間に通院や作業所への通所が困難になると、不安が広がっ

ています。

3/17夜、佐藤宏和敬老パスを守る連絡会事務局長が障害者団体の会合に招かれ、「札幌敬老パスの『見直し』に反対した市民運動の経験」を報告しました。

30人余の出席者からは熱心な質問が相次ぎ、交通費助成制度の改悪をやめさせようと議論が行なわれました。

## 道生連が 対市交渉



道生活と健康を守る会の札幌市交渉が18日に行なわれ、介護保険・敬老カード・生活保護・国保・市営住宅問題などの項目で各部署と話し合われました。

生活保護では、申請の意思を確認したら記録する、その他の書類がそろっていても保護申請書は受け取る、居所がはっきりしていなくても保護申請はできる、などの回答がされました。

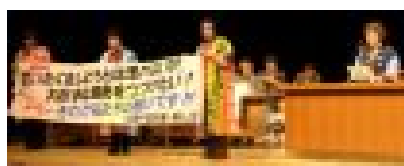
国保では、資格証明書は乳幼児医療費の小卒までの拡大でその間の児童は対象にしない、などの前進はあるものの、未接触でも資格証が出されていること、支払い前提の扱いがいまだに残っていることが問題になりました。

## 就学援助相談－新婦人札幌

新婦人札幌協議会恒例の就学援助相談・集団申請が17日に行われました。当日は4人が相談に訪れ、それ以外に各支部で預かった21人分も申請しました。

今年の特徴は、今までは申請できる収入の境界近くの人が多かったのが、はるかに低い収入の人が増えていること、孫を養っている祖父母が、申請に来る例が増えたそうです。

北支部では事前に地域で朝・昼・夕の相談会を開催したり、幼稚園や保育園にも案内をして、就学援助の宣伝を強めてきました。



## 3.13重税反対統一行動

13日の重税反対統一行動札幌中部集会には、会場に390人が参加しました。今年は憲法を生かす中央区の会も共催になりました。

壇上では、横江中部民商会長の基調報告や、全国中央決起集会に参加した代表の報告、保険業法の改悪反対、業者婦人の待遇改善などの訴えが次々と行われました。

集会後、参加者は市内5カ所の税務署に分かれて集団申告に向かいました。